

事務事業評価調書

事務事業名	安全衛生事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	赤坂 文生

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成24年度	改正内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	地方公務員法第42条、労働安全衛生法													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)											
		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)													
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり											
		節	1												
		細節	20												
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	教育委員会事務局職員												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	衛生管理者の資格取得。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	職員が日々安全に働くことができる職場環境の整備。												
(7)	事業概要	衛生管理者の資格取得による、職場の安全衛生の確保。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	1	目	1	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		20	7	20	10	20							
		人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50						
			総額(B)	千円	4,150	3,974	4,176	4,176	4,085						
		総事業費(A+B)		4,170	3,981	4,196	4,186	4,105							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		4,170	3,981	4,196	4,186	4,105							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			4,170	3,981	4,196	4,186	4,105								
財源計(C+D)		4,170	3,981	4,196	4,186	4,105									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	研修の受講、試験の受験													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	研修の受講	目標値	(単位:回)	1.00	1.00	1.00
			実績値	(単位:回)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	研修の実施	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		試験の合格	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	資格の取得	目標値	(単位:回)	1.00	1.00
	実績値			(単位:回)	0.00	0.00		
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法	試験の合格	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		試験の合格	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容				目標		
	成果内容				達成状況			
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		人事異動等を踏まえると、継続的に資格取得者を増やす必要がある。						

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	安全衛生事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00831				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	教育総務室	事務事業番号	00831
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>50名以上200名以下の職員を要する職場には必ず1名の衛生管理者が必要であり、加えて学校現場に勤務する学校校務員にも資格の取得が必要であると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	小学校管理運営事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	赤坂 文生

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	学校教育法、小学校設置基準													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市立小学校36校												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	学校設置目的である初等普通教育を行うための教育環境の整備。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	児童の心身の発達に応じた教育の円滑な実施。													
(7)	事業概要	教育環境の整備を図るため、学校事務員(臨時雇用員)及び校務員(臨時雇用員)の任用並びに環境整備に関する樹木剪定及び草刈りなど校務員業務の一部を委託等。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	2	目	1	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		52,160	982,336	58,979	56,566	71,353							
		人件費	職員数	人	24.10	27.10	22.10	22.10	17.10						
			総額(B)	千円	200,030	215,364	184,580	184,580	139,707						
		総事業費(A+B)		252,190	1,197,700	243,559	241,146	211,060							
		特定財源(C)		232	308	259	129	310							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		232	308	259	129	310						
		市負担(D)		251,958	1,197,392	243,300	241,017	210,750							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			251,958	1,197,392	243,300	241,017	210,750								
財源計(C+D)		252,190	1,197,700	243,559	241,146	211,060									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	公益社団法人吹田市シルバー人材センター										
				②											
				③											
		主な委託内容		環境整備事業											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	教育環境の整備	目標値	(単位:校)	35.00	36.00	36.00
			実績値	(単位:校)	35.00	36.00		
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	小学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		6,911.63	6,698.50	
				一般財源(単位:千円)		6,907.89	6,694.92	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困難 な 場合		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容			目標				
	②	成果内容	学校教育の円滑な実施		達成状況	学校運営を円滑に行うことができた。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		学校教育法及び小学校設置基準では、学校設置者に学校を管理し、学校の経費を負担し、指導上、保健衛生上、安全上必要となるものを備え、常に改善し、補充する義務を課しているため、本事業は継続して実施する必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	小学校管理運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00832				

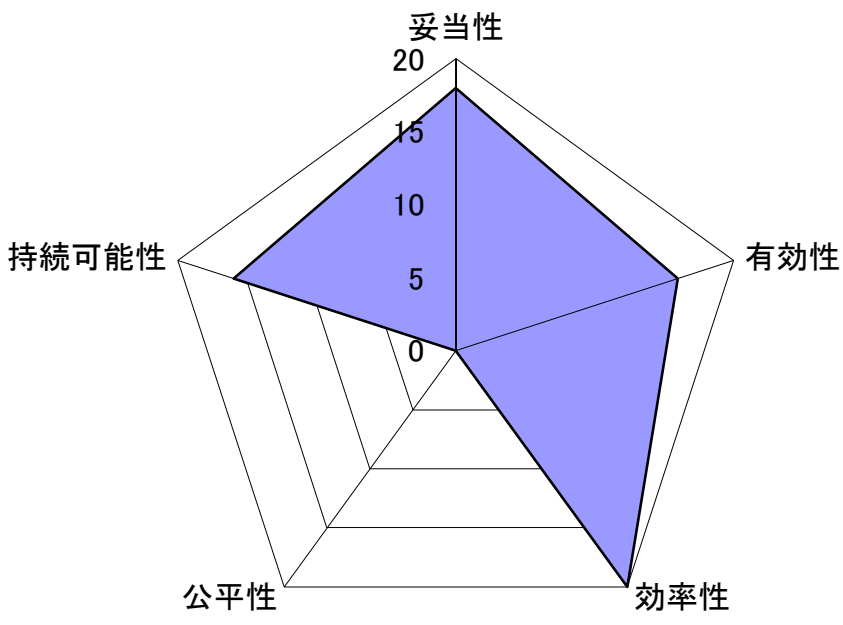
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		点
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。		点
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
③適正な受益者負担を求めていますか。		点		
※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。		点		
※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	00832
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>学校教育法及び小学校設置基準では、学校設置者に学校を管理し、学校の経費を負担し、指導上、保健衛生上、安全上必要となるものを備え、常に改善し、補充する義務を課している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	中学校管理運営事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	赤坂 文生

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	学校教育法、中学校設置基準													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市立中学校18校												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	学校設置目的である中等普通教育を行うための教育環境の充実												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	生徒の心身の発達に応じた教育の円滑な実施。													
(7)	事業概要	教育環境の整備を図るため、学校事務員(臨時雇用員)及び校務員(臨時雇用員)の任用並びに環境整備に関する樹木剪定及び草刈りなど校務員業務の一部を委託等。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	3	目	1	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		26,189	456,350	28,126	26,878	26,212							
		人件費	職員数	人	18.10	20.10	17.10	17.10	18.10						
			総額(B)	千円	150,230	159,735	142,820	142,820	147,877						
		総事業費(A+B)		176,419	616,085	170,946	169,698	174,089							
		特定財源(C)		116	4,151	123	82	115							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	116	4,151	123	82	115							
		市負担(D)		176,303	611,934	170,823	169,616	173,974							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	176,303		611,934	170,823	169,616	173,974									
財源計(C+D)		176,419	616,085	170,946	169,698	174,089									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	公益社団法人吹田市シルバー人材センター										
				②											
				③											
		主な委託内容		環境整備事業											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	教育環境の整備	目標値	(単位:校)	18.00	18.00	18.00
			実績値	(単位:校)	18.00	18.00		
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	中学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		9,397.33	9,427.67	
				一般財源(単位:千円)		9,393.11	9,423.11	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困難 な 場合 示 す		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容			目標				
	②	成果内容	学校教育の円滑な実施		達成状況	学校運営を円滑に行うことができた。		
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	学校教育法及び中学校設置基準では、学校設置者に学校を管理し、学校の経費を負担し、指導上、保健衛生上、安全上必要となるものを備え、常に改善し、補充する義務を課しているため、本事業は継続して実施する必要がある。						

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	中学校管理運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00833				

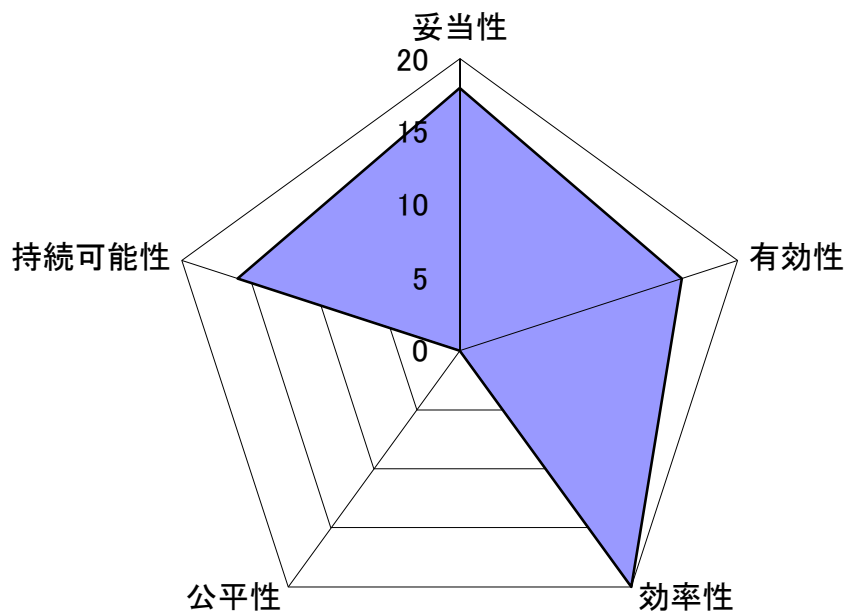
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	00833
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>学校教育法及び中学校設置基準では、学校設置者に学校を管理し、学校の経費を負担し、指導上、保健衛生上、安全上必要となるものを備え、常に改善し、補充する義務を課している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	小学校教師用教科書等配付事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	赤坂 文生

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	学校教育法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	小学校36校												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	授業に必要な教科書・指導書等の教師への配付。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	充実した教育の実施。													
(7)	事業概要	教師に教科書及び指導書等を配付することによる、充実した教育の実施。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	2	目	1	大事業	3	中事業	2	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		5,261	6,420	128,024	127,077	9,827							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.20	0.20	0.10						
			総額(B)	千円	830	795	1,671	1,671	817						
		総事業費(A+B)		6,091	7,215	129,695	128,748	10,644							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		6,091	7,215	129,695	128,748	10,644							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	6,091		7,215	129,695	128,748	10,644									
財源計(C+D)		6,091	7,215	129,695	128,748	10,644									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 教師への教科書・指導書の配付	目標値	(単位:冊)	8,260.00	11,405.00	5,994.00	
			実績値	(単位:冊)	8,260.00	11,405.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	配付必要見込冊数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.87	11.29	
				一般財源(単位:千円)		0.87	11.29	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		実施学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 充実した教育の実施	目標値	(単位:校)	35.00	36.00	36.00
	実績値			(単位:校)	35.00	36.00		
	達成度(%)			100.0	100.0			
	目標値の積算方法	実施学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		206.14	3,576.33	
				一般財源(単位:千円)		206.14	3,576.33	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容					目標		
	②	成果内容					達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		学校教育法(第34条)に基づき、授業を行ううえで必要な教師用教科書及び指導書等を配付するため本事業は継続して実施するものである。平成27年度は4年に1回に行われる教科書改訂年度であるため多額の予算を確保しなければならないが、既存の事業費内で経費を捻出することは教材整備等に大きく影響を及ぼすことになるため拡充した。					

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	小学校教師用教科書等配付事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00847				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理		点
③適正な受益者負担を求めていますか。				
内部管理		点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。				
内部管理		点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	00847
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1" style="display: none;"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>学習指導要領が4年毎に改訂されることに伴い、教科書及び指導書を一新するための購入経費が多額となる。前回の改訂時(平成23年度)には、従来の配付基準の見直しを行い、必要最低限の購入に留めた が、教育環境の充実を図るためにはこれ以上の経費削減等の見直しは困難である。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	小学校卒業記念品配付事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	赤坂 文生

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	なし													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	小学校6年生												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	小学校の全課程を修了したことを祝うとともに、修学の達成感を促す。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	修学の達成感や今後の新たな生活への意欲の保持。													
(7)	事業概要	小学校の教育課程の修了を祝い、児童に記念品を支給。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	2	目	1	大事業	3	中事業	3	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		966	948	926	897	980							
		人件費	職員数	人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05						
			総額(B)	千円	415	398	418	418	409						
		総事業費(A+B)		1,381	1,346	1,344	1,315	1,389							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0							
		(内訳)	市負担(D)		1,381	1,345	1,344	1,315	1,389						
			地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			1,381	1,345	1,344	1,315	1,389								
財源計(C+D)		1,381	1,345	1,344	1,315	1,389									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	卒業生への配付記念品の購入	目標値	(単位:人)	3,255.00	3,356.00	3,529.00
			実績値	(単位:人)	3,487.00	3,347.00	/	
		達成度(%)			107.1	99.7		
	目標値の積算方法	市立小学校と支援学校卒業生見込み数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.39		0.39
				一般財源(単位:千円)		0.39	0.39	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)			0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容	卒業生への記念品の配付	目標値	(単位:人)	3,487.00	3,347.00	3,529.00
			実績値	(単位:人)	3,487.00	3,347.00	/	
		達成度(%)			100.0	100.0		
	目標値の積算方法	市立小学校と支援学校(吹田市内在住に限る)卒業生への配付	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.39		0.39
				一般財源(単位:千円)		0.39	0.39	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)			0.00	0.00
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		小学校の教育課程を修了し、記念品を受け取るにより成し遂げたことに対して評価されたという達成感が高まり、新たな学校生活に向けての意欲につながると考えるため、本事業は継続して実施するものである。					

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	小学校卒業記念品配付事業	事業区分	その他
事務事業番号	00848				

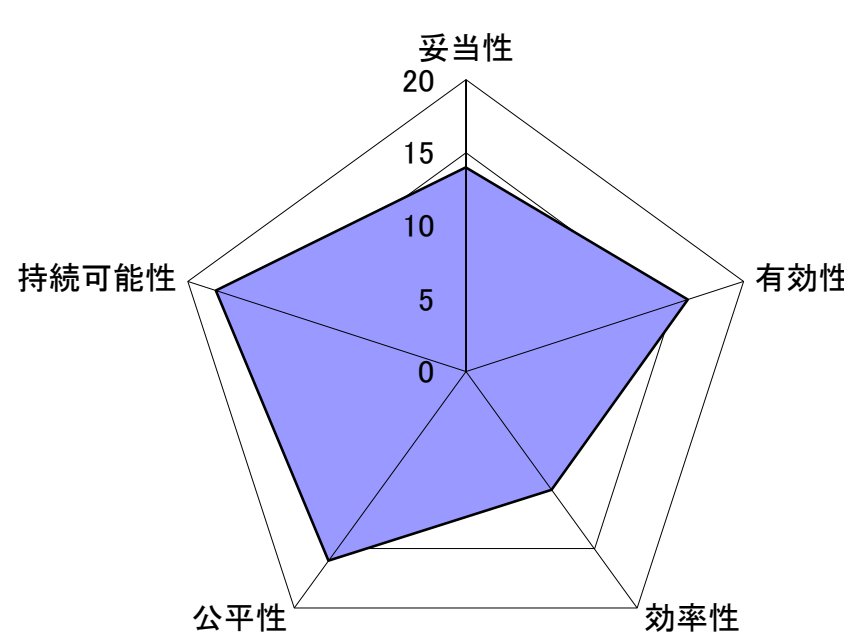
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	10	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	74	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	教育総務室	事務事業番号	00848
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成21年度のゼロクリア大作戦において、物品の選考や購入単価等において見直しを行ったが、厳しい財政状況の下、安価なものでも記念になるものとして、市のイメージキャラクターすいたん入りのオリジナルグッズ(書類入れ)を記念品として配付している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	小学校設備・備品等更新事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	赤坂 文生

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成15年度	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	学校教育法、小学校設置基準							
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章 4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 1	細節 21				
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
		範囲等	小学校36校の放送室放送設備及び特別教室備品						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	耐用年数の経過した設備等の更新。						
		結果 (どのような効果が得られるのか)	日常の学校及び非常時の避難所としての円滑な運営。						
(7)	事業概要	放送設備は、始業終業の合図、緊急放送、視聴覚教材の一斉送信及び施設面積の大きさに比して内線等の連絡手段の設置箇所が限定されていることによる呼び出し放送等、学校において必要不可欠である。また、特別教室の理科実験機や家庭科調理台等の備品は、水道等の配管を伴うもので代替のきかないものであり、床や壁等の施設改修工事の実施時期と合わせて更新することで更新経費の軽減が可能である。各耐用年数15～20年を経過したものを年次的に更新している。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計 1	款 10	項 2	目 1	大事業 3	中事業 5	小事業 1	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		2,758	2,642	1,658	578	23,248	
		人件費	職員数	人	0.05	0.15	0.05	0.05	0.05
			総額(B)	千円	415	1,193	418	418	409
		総事業費(A+B)		3,173	3,835	2,076	996	23,657	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国	0	0	0	0	0	
			府	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
		市負担(D)		3,173	3,834	2,076	996	23,657	
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
一般財源	3,173		3,834	2,076	996	23,657			
財源計(C+D)		3,173	3,834	2,076	996	23,657			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
②									
③									
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 経年劣化した放送設備の更新	目標値	(単位:校)	1.00	2.00	/
			実績値	(単位:校)	1.00	1.00	
			達成度(%)		100.0	50.0	
	目標値の積算方法 事前調査により、早急な放送設備機器の更新が必要な学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3,040.00	996.00		
			一般財源(単位:千円)	3,040.00	996.00		
	②	指標内容 設置から25年以上を経過した理科実験台又は家庭科調理台の改修工事に伴う更新	目標値	(単位:教室)	1.00	0.00	
実績値			(単位:教室)	1.00	0.00		
達成度(%)			100.0	0.0			
目標値の積算方法 設置から25年以上を経過した理科実験台又は家庭科調理台を保有する教室のうち、改修工事を実施する教室数		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3,040.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	3,040.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 良好な校内放送環境の整備	目標値	(単位:校)	8.00	7.00
	実績値			(単位:校)	1.00	1.00	
	達成度(%)			12.5	14.3		
	目標値の積算方法 メイン機器である音声調整卓の耐用年数を経過する放送設備を保有する学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3,040.00	996.00		
			一般財源(単位:千円)	3,040.00	996.00		
	②	指標内容 安全で衛生的な環境の確保	目標値	(単位:台)	81.00	81.00	/
実績値			(単位:台)	1.00	0.00		
達成度(%)			1.2	0.0			
目標値の積算方法 設置から25年以上を経過する理科実験台又は家庭科調理台等を有する更新対象教室数		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3,040.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		3,040.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		学校教育法(第5条)及び小学校設置基準(第11条)で学校設置者には学校を管理し学校の経費を負担し指導上保健衛生上安全上必要となる校具・教具を備え常に改善し補充しなければならないと規定されていることから本事業は継続して実施するものである。				

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	小学校設備・備品等更新事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00849				

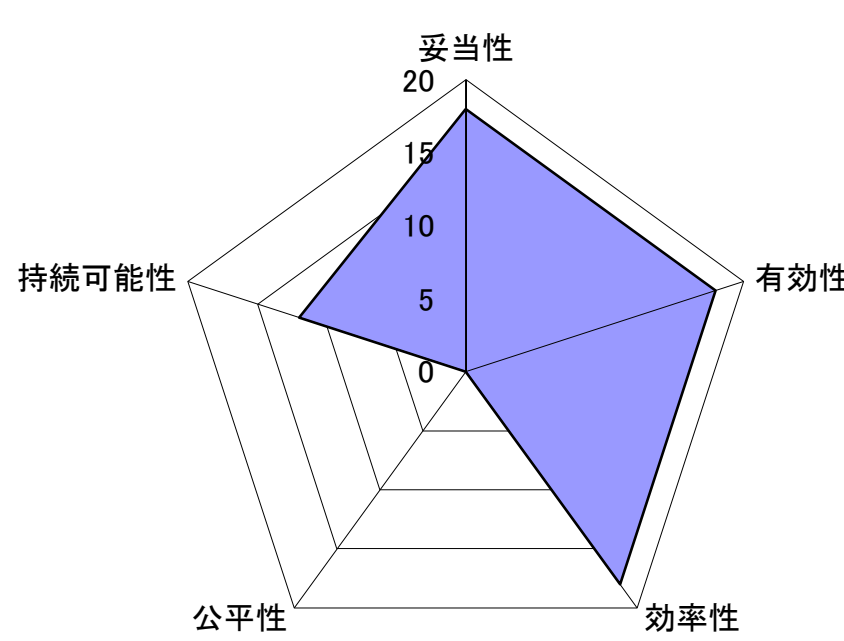
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	00849
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価点数	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価点数														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>放送設備機器については、耐用年数が10～15年であるため、事前調査や財政状況を見極めて、年2～3校の年次的な更新を目指している。しかしこの場合、概ね18年での更新となり、耐用年数を経過してから更新することになる。学校運営はもちろんのこと、地域の避難施設となっていることから、今後とも学校運営等に支障をきたさないよう計画的な更新を推進していく必要がある。また、特別教室備品についても、教室改修工事と合わせて年次的に更新することで経費の軽減が図られている。初度備品として開校当初に設置されてから、耐用年数の20年を経過しており、老朽化が進んでいる。将来的には大規模工事等とも合わせての更新を検討する必要がある</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	小学校理科教育設備整備事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	赤坂 文生

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	学校教育法、小学校設置基準、理科教育振興法、理科教育振興法令													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	21							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	小学校36校											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	理科教育の充実。												
(7) 事業概要	理科教育振興法に基づく、国庫補助制度を活用した理科教材の整備。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	2	目	1	大事業	3	中事業	6	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,000	998	1,000	992	1,000							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.20	0.20	0.05						
		総額(B)	千円	830	795	1,671	1,671	409						
	総事業費(A+B)		1,830	1,793	2,671	2,663	1,409							
	特定財源(C)		500	498	500	496	500							
	(内訳)	国	500	498	500	496	500							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		1,330	1,295	2,171	2,167	909							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		1,330	1,295	2,171	2,167	909								
財源計(C+D)		1,830	1,793	2,671	2,663	1,409								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 国庫補助制度を活用して理科教育設備の整備	目標値	(単位:校)	5.00	5.00	5.00	
			実績値	(単位:校)	5.00	5.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	国庫補助制度を活用した理科教育設備整備対象学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		199.80	532.60	
				一般財源(単位:千円)		100.20	433.40	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		整備した設備による理科教育の実施学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 整備した設備による理科教育の実施	目標値	(単位:校)	35.00	36.00	36.00
	実績値			(単位:校)	35.00	36.00		
	達成度(%)			100.0	100.0			
	目標値の積算方法	整備した設備による理科教育の実施学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		28.54	73.97	
				一般財源(単位:千円)		14.31	60.19	
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		整備した設備による理科教育の実施学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容					目標	
	成果内容					達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		学校教育法(第5条)及び小学校設置基準(第11条)で学校設置者には学校を管理し、学校の経費を負担し、指導上、保健衛生上、安全上必要となる校具・教具を備え、常に改善し、補充しなければならないと規定されている。また本事業は、理科教育振興法により定められた理科教育設備の整備に対して、国が1/2の補助率で経費を補助するという制度を活用することで効果的に教材整備ができることから継続して実施するものである。						

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	小学校理科教育設備整備事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00850				

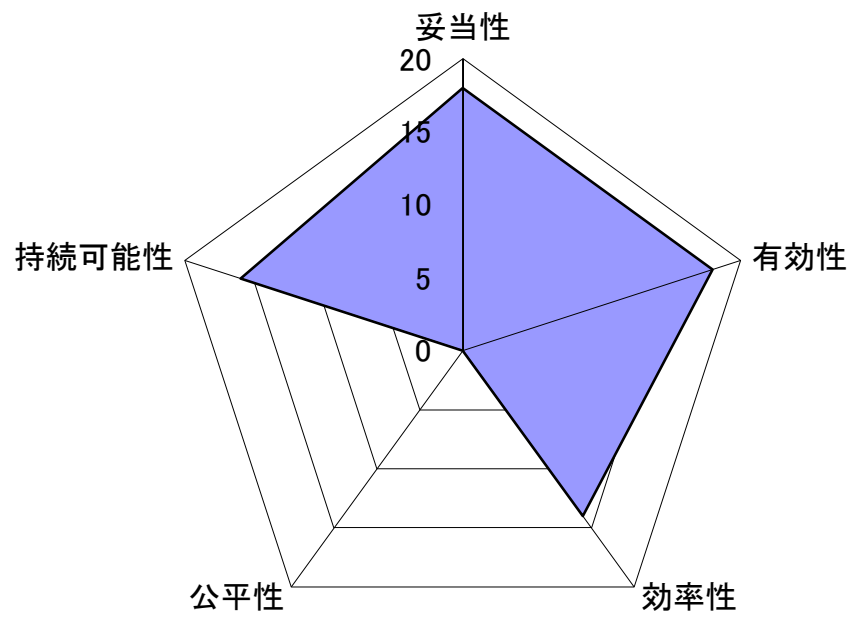
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理		点
③適正な受益者負担を求めていますか。				
内部管理		点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。				
内部管理		点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	00850
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>国庫補助制度を活用する事業であるため、これまで年5校程のペースで年次的な整備を行ってきたが、平成21年度に国の補正予算である地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用し、一定の整備ができたことから、平成22年度から24年度においては事業実施を見送りとした経過はあるが、平成23年度の学習指導要領の改定で、授業内容及び時間の増加など教育環境の変化に伴い新たに必要となる教材もあるため、更なる教育環境の充実を図れるよう、今後も年次的に事業を実施していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	小学校安全対策事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	赤坂 文生

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成17年度	改正 内容	大阪府の学校安全対策交付金要綱の終了											
(2) 直近の改正	平成22年度													
(3) 根拠法令等	なし													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	21							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市立小学校児童(対象数36校)											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	校門において、不審者の侵入防止・抑制、来訪者の受付・確認及び緊急時の連絡・通報を実施による、児童の学校内での安全の確保。 安心・安全な学校の確立。												
(7) 事業概要	小学校におけるより徹底した防犯体制の確立と、警備員等の各校1名配置による児童の安全の確保。 校門付近の常時監視により、来校者の受付・確認を行い、不審者の侵入防止・抑制及び緊急時の迅速な連絡体制の確立。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	2	目	1	大事業	7	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		63,570	59,625	62,714	61,246	63,180							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.20	0.20	0.10						
		総額(B)	千円	830	795	1,671	1,671	817						
	総事業費(A+B)		64,400	60,420	64,385	62,917	63,997							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		64,400	60,420	64,385	62,917	63,997							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		64,400	60,420	64,385	62,917	63,997								
財源計(C+D)		64,400	60,420	64,385	62,917	63,997								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	株式会社サカエ警備保障										
			②	大阪中央警備保障株式会社										
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	③	株式会社双葉化学商会										
			①											
②														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	小学校警備員等配置校数	目標値	(単位:校)	35.00	36.00	/
			実績値	(単位:校)	35.00	36.00		
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	全市立小学校(35校) (平成27年度~ 36校)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,726.29	1,747.69	
				一般財源(単位:千円)		1,726.29	1,747.69	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00		0.00
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	学校内への不審者侵入件数(学校等からの報告件数)			目標	0件	
	②	成果内容	学校内への不審者侵入件数(学校等からの報告件数)は、0件でした。			達成状況	0件	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		現状分析からもわかるように、人による抑止効果は大きなものがあると考えており、今後も配置は必要である。					

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	小学校安全対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	00852				

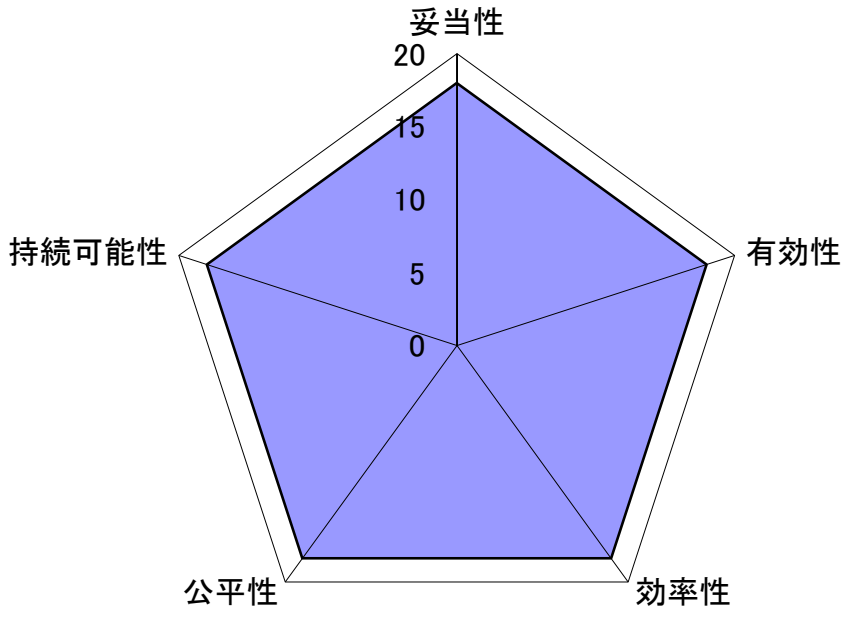
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	00852
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成23年度吹田市事業見直し会議において、本事業について縮小という結論が出されたが、学校における児童の安全を確保するためには、警備員等による立哨が大きな抑止力となっており、実際に昼間の不審者の侵入は発生していない。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	中学校教師用教科書等配付事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	赤坂 文生

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	学校教育法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	中学校18校												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	授業に必要な教科書・指導書等の教師への配付。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	充実した教育の実施。													
(7)	事業概要	教師に教科書及び指導書等を配付することによる、充実した教育の実施。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	3	目	1	大事業	3	中事業	2	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,345	1,077	931	961	45,150							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	830	795	836	836	817						
		総事業費(A+B)		2,175	1,872	1,767	1,797	45,967							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		2,175	1,872	1,767	1,797	45,967							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			2,175	1,872	1,767	1,797	45,967								
財源計(C+D)		2,175	1,872	1,767	1,797	45,967									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 教師への教科書・指導書の配付	目標値	(単位:冊)	1,783.00	709.00	4,002.00
			実績値	(単位:冊)	1,783.00	709.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	配付必要見込冊数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.05	2.53
				一般財源(単位:千円)		1.05	2.53
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		実施学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
(3) が困難な場合		①	指標内容 充実した教育の実施	目標値	(単位:校)	18.00	18.00
	実績値			(単位:校)	18.00	18.00	
	達成度(%)			100.0	100.0		
	目標値の積算方法	実施学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		104.06	99.83
				一般財源(単位:千円)		104.06	99.83
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
①		活動内容			目標		
②	成果内容			達成状況			
今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
評価の説明		学校教育法(第34条)に基づき、授業を行ううえで必要な教師用教科書及び指導書等を配付するため本事業は継続して実施するものである。平成28年度は4年に1回に行われる教科書改訂年度であるため多額の予算を確保しなければならないが、既存の事業費内で経費を捻出することは教材整備等に大きく影響を及ぼすことになるため拡充する必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	中学校教師用教科書等配付事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00861				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理		点
③適正な受益者負担を求めていますか。				
内部管理		点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。				
内部管理		点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	00861
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>学習指導要領が4年毎に改訂されることに伴い、教科書及び指導書を一新するための、購入経費が多額となる。前回の改訂時(平成24年度)には、従来の配付基準の見直しを行い、必要最低限の購入に留めた が、教育環境の充実を図るためにはこれ以上の経費削減等の見直しは困難である。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	中学校卒業記念品配付事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	赤坂 文生

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	なし													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	中学校3年生												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	中学校の全課程を修了したことを祝うとともに、修学の達成感を促す。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	修学の達成感や今後の新たな生活への意欲の保持。												
(7)	事業概要	中学校の教育課程の修了を祝い、記念品を支給する。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	3	目	1	大事業	3	中事業	3	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		879	622	628	626	620							
		人件費	職員数	人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05						
			総額(B)	千円	415	398	418	418	409						
		総事業費(A+B)		1,294	1,020	1,046	1,044	1,029							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0							
		(内訳)	市負担(D)		1,294	1,019	1,046	1,044	1,029						
			地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			1,294	1,019	1,046	1,044	1,029								
財源計(C+D)		1,294	1,019	1,046	1,044	1,029									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	卒業生への配付記念品の購入	目標値	(単位:人)	3,255.00	3,170.00	3,122.00	
			実績値	(単位:人)	3,307.00	3,161.00		
			達成度(%)		101.6	99.7		
	目標値の積算方法	市立中学校と支援学校卒業生見込み数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.31	0.33	
				一般財源(単位:千円)		0.31	0.33	
	(2) 成果指標	②	卒業生への記念品の配付	目標値	(単位:人)	3,255.00	3,161.00	3,122.00
実績値				(単位:人)	3,307.00	3,161.00		
達成度(%)				101.6	100.0			
目標値の積算方法		市立中学校と支援学校(吹田市内在住に限る)卒業生への配付	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.31	0.33	
				一般財源(単位:千円)		0.31	0.33	
(3) が困難な場合		①	活動内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	②	成果内容	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	
					一般財源(単位:千円)		0.00	
					達成度(%)		0.0	
(4) 総合評価		今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
		評価の説明	中学校の教育課程を修了し、記念品を受け取るにより成し遂げたことに対して評価されたという達成感が高まり、新たな生活に向けての意欲につながると考えるため本事業は継続して実施するものである。					

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	中学校卒業記念品配付事業	事業区分	その他
事務事業番号	00862				

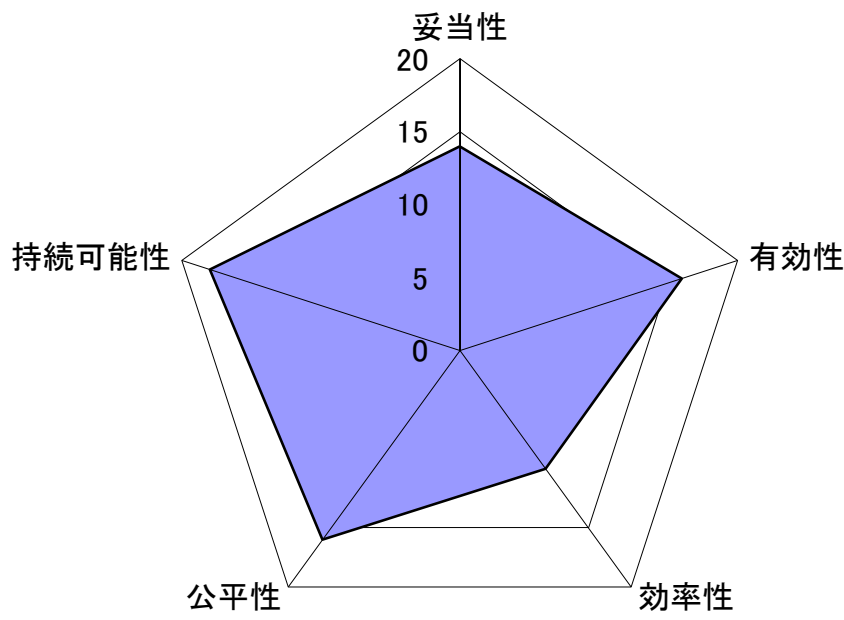
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	74	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	00862
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <table border="1" style="display: none;"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (推定)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (推定)	妥当性	15	有効性	10	効率性	8	公平性	5	持続可能性	12
視点	評価結果 (推定)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	8														
公平性	5														
持続可能性	12														
(3)現状分析	<p>平成21年度のゼロクリア大作戦において、物品の選考や購入単価等において見直しを行ったが、厳しい財政状況の下、安価なものでも記念になるものとして、市のイメージキャラクターすいたん入りのオリジナルグッズ(手鏡)を記念品として配付している。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	中学校設備・備品等更新事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	赤坂 文生

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成15年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	学校教育法、中学校設置基準						
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 1	細節 21			
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他		
		範囲等	中学校18校の放送室放送設備、特別教室備品及び保健室の空調設備					
		目標 (どういう状態にしたいのか)	耐用年数の経過した設備等の更新。					
		結果 (どのような効果が得られるのか)	日常の学校及び非常時の避難所としての円滑な運営。					
(7)	事業概要	放送設備は、始業終業の合図、緊急放送、視聴覚教材の一斉送信及び施設面積の大きさに比して内線等の連絡手段の設置箇所が限定されていることによる呼び出し放送等、学校において必要不可欠である。また、特別教室の理科実験機や家庭科調理台等の備品は、水道等の配管を伴うもので代替のきかないものであり、床や壁等の施設改修工事の実施時期と合わせて更新することで更新経費の軽減が可能である。各耐用年数15～20年を経過したものを年次的に更新している。また、保健室の空調設備についても、耐用年数15年を超過したものを年次的に更新している。						
(8)	H27事業別 予算コード	会計 1	款 10	項 3	目 1	大事業 3	中事業 4	小事業 1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		4,467	5,552	829	0	15,582
		人件費	職員数	0.05	0.05	0.05	0.00	0.05
			総額(B)	415	398	418	0	409
		総事業費(A+B)		4,882	5,950	1,247	0	15,991
		特定財源(C)		0	0	0	0	0
		(内訳)	国	0	0	0	0	0
			府	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0
		市負担(D)		4,882	5,949	1,247	0	15,991
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,882		5,949	1,247	0	15,991		
財源計(C+D)		4,882	5,949	1,247	0	15,991		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
				②				
				③				
		主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 経年劣化した放送設備の更新	目標値	(単位:校)	1.00	1.00	/
			実績値	(単位:校)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 事前調査により、早急な放送設備機器の更新が必要な学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容 設置から20年を経過した理科実験台又は家庭科調理台の改修工事に伴う更新	目標値	(単位:教室)	2.00	0.00	
実績値			(単位:教室)	1.00	0.00		
達成度(%)			50.0	0.0			
目標値の積算方法 設置から20年を経過した理科実験台又は家庭科調理台を保有する教室のうち、改修工事を実施する教室数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	5,950.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	5,950.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 良好な校内放送環境の整備	目標値	(単位:校)	1.00	1.00	/
			実績値	(単位:校)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 メイン機器である音声調整卓の耐用年数を経過する放送設備を保有する学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容 安全で衛生的な環境の確保	目標値	(単位:教室)	42.00	40.00	
実績値			(単位:教室)	1.00	0.00		
達成度(%)			2.4	0.0			
目標値の積算方法 設置から20年以上を経過する理科実験台又は家庭科調理台等を有する更新対象教室数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	5,950.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	5,950.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		学校教育法(第5条)及び中学校設置基準(第11条)で、学校設置者には学校を管理し学校の経費を負担し指導上保健衛生上安全上必要となる校具・教具を備え常に改善し補充しなければならないと規定されていることから本事業は継続して実施するものである。				

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	中学校設備・備品等更新事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00863				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	00863
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>放送設備機器については、耐用年数が10～15年であるため、事前調査や財政状況を見極めて、年2～3校の年次的な更新を目指している。しかしこの場合、概ね18年での更新となり、耐用年数を経過してから更新することになる。学校運営はもちろんのこと、地域の避難施設となっていることから、今後とも学校運営等に支障をきたさないよう計画的な更新を推進していく必要がある。また、特別教室備品についても、教室改修工事と合わせて年次的に更新することで経費の軽減が図られている。初度備品として開校当初に設置されてから、耐用年数の20年を経過しており、老朽化が進んでいる。将来的には大規模工事等とも合わせての更新を検討する必要がある。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	中学校理科教育設備整備事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	赤坂 文生

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	学校教育法、中学校設置基準、理科教育振興法、理科教育振興法令													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	中学校18校												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	国庫補助制度を活用した、理科教材の整備。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	理科教育の充実。													
(7)	事業概要	理科教育振興法に基づく、国庫補助制度を活用した理科教材の整備。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	3	目	1	大事業	3	中事業	5	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		600	589	600	596	600							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.05						
			総額(B)	千円	830	795	836	836	409						
		総事業費(A+B)		1,430	1,384	1,436	1,432	1,009							
		特定財源(C)		300	295	300	298	300							
		(内訳)	国	300	295	300	298	300							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		1,130	1,089	1,136	1,134	709							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	1,130		1,089	1,136	1,134	709									
財源計(C+D)		1,430	1,384	1,436	1,432	1,009									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 国庫補助制度を活用して理科教育設備の整備	目標値	(単位:校)	3.00	3.00	/
			実績値	(単位:校)	3.00	3.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法 国庫補助制度を活用した理科教育設備整備対象学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	461.33	477.33		
			一般財源(単位:千円)	363.00	378.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 整備した設備による理科教育の実施	目標値	(単位:校)	18.00	18.00	/
			実績値	(単位:校)	18.00	18.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法 整備した設備による理科教育の実施学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	76.89	79.56		
			一般財源(単位:千円)	60.50	63.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		学校教育法(第5条)及び中学校設置基準(第11条)で学校設置者には学校を管理し学校の経費を負担し指導上保健衛生上安全上必要となる校具・教具を備え常に改善し補充しなければならないと規定されている。また本事業は理科教育振興法により定められた理科教育設備の整備に対して国が1/2の補助率で経費を補助するという制度を活用することで効果的に教材整備ができることから継続して実施するものである。				

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	中学校理科教育設備整備事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00864				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	00864
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>国庫補助制度を活用する事業であるため、これまで年5校程のペースで年次的な整備を行ってきたが、平成21年度に国の補正予算である地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用し、一定の整備ができたことから、平成22年度から24年度においては事業実施を見送りとした経過はあるが、平成24年度の学習指導要領の改定で、授業内容及び時間の増加など教育環境の変化に伴い新たに必要となる教材もあるため、更なる教育環境の充実を図れるよう、今後も年次的に事業を実施していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	幼稚園卒園記念品配付事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	赤坂 文生

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	なし													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	幼稚園5歳児												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	幼稚園の全過程を修了したことを祝うとともに、修学の達成感を促す。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	修学の達成感や今後の新たな生活への意欲の保持。													
(7)	事業概要	幼稚園の教育課程の修了を祝い、園児に記念品を支給。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	4	目	1	大事業	3	中事業	2	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		147	180	202	199	151							
		人件費	職員数	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01					
			総額(B)	千円	83	80	84	84	82						
		総事業費(A+B)		230	260	286	283	233							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		230	259	286	283	233							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			230	259	286	283	233								
財源計(C+D)		230	259	286	283	233									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 卒園生への配付記念品の購入	目標値	(単位:人)	453.00	530.00	405.00	
			実績値	(単位:人)	470.00	530.00		
			達成度(%)		103.8	100.0		
	目標値の積算方法	卒園見込み数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.55	0.53	
				一般財源(単位:千円)		0.55	0.53	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 卒園生への記念品の配付	目標値	(単位:人)	453.00	530.00	405.00	
			実績値	(単位:人)	470.00	530.00		
			達成度(%)		103.8	100.0		
	目標値の積算方法	卒園生への記念品の配付配付数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.55	0.53	
				一般財源(単位:千円)		0.55	0.53	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		幼稚園の全課程を修了し、記念品を受け取るにより成し遂げたことに対して評価された達成感が生じ、新たな学校生活に向けての意欲につながると考えるため本事業は継続して実施するものである。					

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	幼稚園卒園記念品配付事業	事業区分	その他
事務事業番号	00871				

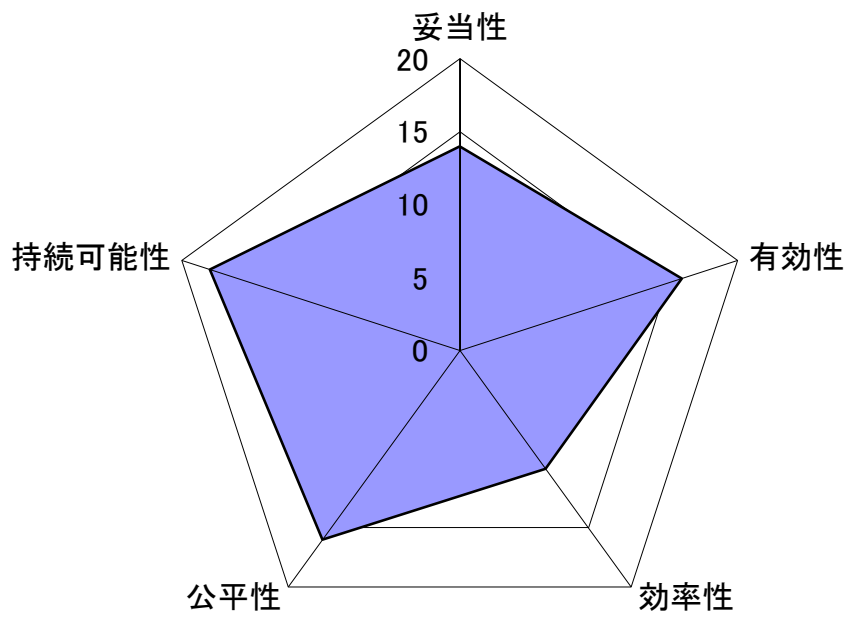
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	10	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	74	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	教育総務室	事務事業番号	00871
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (0-20)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (0-20)	妥当性	15	有効性	10	効率性	8	公平性	5	持続可能性	12
視点	評価結果 (0-20)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	8														
公平性	5														
持続可能性	12														
(3)現状分析	<p>平成21年度のゼロクリア大作戦で物品の選考や購入単価等において見直しを行ったが、記念品代としての直接負担ではないものの、幼稚園保育料を保護者負担として徴収していることから、これ以上のコストを下げるためには、保護者の理解を求めめる必要がある。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	幼稚園安全対策事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	赤坂 文生

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成17年度	改正内容	なし																																																																																								
(2)	直近の改正	なし																																																																																										
(3)	根拠法令等	なし																																																																																										
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり) <input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)																																																																																										
		一部にチェックした場合はその説明																																																																																										
(5)	総合計画の体系	章 4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 1	細節 21																																																																																							
(6)	目的	対象 (誰を、何を) 区分 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 範囲等 市立幼稚園児(対象数16園)	目標 (どういう状態にしたいのか) 園門において、不審者の侵入防止・抑制、来訪者の受付・確認及び緊急時の連絡・通報の実施による、園児の園内での安全の確保。	結果 (どのような効果が得られるのか) 安心・安全な幼稚園の確立。																																																																																								
(7)	事業概要	幼稚園におけるより徹底した防犯体制の確立及び警備員又は受付員の各園1名配置による園児の安全の確保。園門付近を常時監視により、来園者の受付・確認を行い、不審者の侵入防止・抑制及び緊急時の迅速な連絡体制の確立。																																																																																										
(8)	H27事業別予算コード	会計 1	款 10	項 4	目 1	大事業 7	中事業 1	小事業 1																																																																																				
(9)	事業費と財源の内訳	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">平成26年度 (2014年度)</th> <th colspan="2">平成27年度 (2015年度)</th> <th>平成28年度 (2016年度)</th> </tr> <tr> <th>予算(千円)</th> <th>決算(千円)</th> <th>予算(千円)</th> <th>決算見込(千円)</th> <th>予算(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費(A)</td> <td>12,016</td> <td>11,502</td> <td>12,170</td> <td>11,905</td> <td>12,473</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">人件費</td> <td>職員数 人</td> <td>0.02</td> <td>0.02</td> <td>0.05</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>総額(B) 千円</td> <td>166</td> <td>159</td> <td>418</td> <td>418</td> </tr> <tr> <td>総事業費(A+B)</td> <td>12,182</td> <td>11,661</td> <td>12,588</td> <td>12,323</td> <td>12,637</td> </tr> <tr> <td>特定財源(C)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">(内訳)</td> <td>国</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>府</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>市負担(D)</td> <td>12,182</td> <td>11,661</td> <td>12,588</td> <td>12,323</td> <td>12,637</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">(内訳)</td> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>12,182</td> <td>11,661</td> <td>12,588</td> <td>12,323</td> </tr> <tr> <td>財源計(C+D)</td> <td>12,182</td> <td>11,661</td> <td>12,588</td> <td>12,323</td> <td>12,637</td> </tr> </tbody> </table>							項目	平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	事業費(A)	12,016	11,502	12,170	11,905	12,473	人件費	職員数 人	0.02	0.02	0.05	0.05	総額(B) 千円	166	159	418	418	総事業費(A+B)	12,182	11,661	12,588	12,323	12,637	特定財源(C)	0	0	0	0	0	(内訳)	国	0	0	0	0	府	0	0	0	0	その他	0	0	0	0	市負担(D)	12,182	11,661	12,588	12,323	12,637	(内訳)	地方債	0	0	0	0	その他	0	0	0	0	一般財源	12,182	11,661	12,588	12,323	財源計(C+D)	12,182	11,661	12,588	12,323	12,637
項目	平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)																																																																																							
	予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)																																																																																							
事業費(A)	12,016	11,502	12,170	11,905	12,473																																																																																							
人件費	職員数 人	0.02	0.02	0.05	0.05																																																																																							
	総額(B) 千円	166	159	418	418																																																																																							
総事業費(A+B)	12,182	11,661	12,588	12,323	12,637																																																																																							
特定財源(C)	0	0	0	0	0																																																																																							
(内訳)	国	0	0	0	0																																																																																							
	府	0	0	0	0																																																																																							
	その他	0	0	0	0																																																																																							
市負担(D)	12,182	11,661	12,588	12,323	12,637																																																																																							
(内訳)	地方債	0	0	0	0																																																																																							
	その他	0	0	0	0																																																																																							
	一般財源	12,182	11,661	12,588	12,323																																																																																							
財源計(C+D)	12,182	11,661	12,588	12,323	12,637																																																																																							
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2">委託先</td> <td>①</td> <td>株式会社双葉化学商会</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>公益社団法人吹田市シルバー人材センター</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主な委託内容</td> <td colspan="2">園門付近の常時監視、不審者侵入時等の通報</td> </tr> </table> <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3">交付先</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> </tr> </table> <input type="checkbox"/> その他 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>内容</td> <td></td> </tr> </table>							委託先	①	株式会社双葉化学商会	②	公益社団法人吹田市シルバー人材センター	③			主な委託内容	園門付近の常時監視、不審者侵入時等の通報		交付先	①		②		③		内容																																																																	
委託先	①	株式会社双葉化学商会																																																																																										
	②	公益社団法人吹田市シルバー人材センター																																																																																										
③																																																																																												
主な委託内容	園門付近の常時監視、不審者侵入時等の通報																																																																																											
交付先	①																																																																																											
	②																																																																																											
	③																																																																																											
内容																																																																																												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 幼稚園警備員等配置園数	目標値	(単位:園)	16.00	16.00	16.00	
			実績値	(単位:園)	16.00	16.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	全市立幼稚園(16園)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		728.88	770.19	
				一般財源(単位:千円)		728.88	770.19	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
		達成度(%)		0.0	0.0			
①	活動内容	幼稚園内への不審者侵入件数(園等からの報告件数)			目標	0件		
		幼稚園内への不審者侵入件数(園等からの報告件数)は、0件でした。			達成状況	0件		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		現状分析からもわかるように、人による抑止効果は大きなものがあると考えており、今後も配置は必要である。					

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	幼稚園安全対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	00872				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	00872
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成23年度吹田市事業見直し会議において、本事業について縮小という結論が出されたが、幼稚園における園児の安全を確保するためには、警備員又は受付員による立哨が大きな抑止力となっており、実際に昼間の不審者の侵入は発生していない。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	小学校管理運営事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	赤坂 文生

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし						
(2)	直近の改正	なし								
(3)	根拠法令等	学校教育法、小学校設置基準								
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)						
		一部にチェックした場合はその説明								
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	21		
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他				
		範囲等	小学校36校							
		目標 (どういう状態にしたいのか)	校具・教具等の整備及び施設管理による、教育環境の充実。							
	結果 (どのような効果が得られるのか)	児童の心身の発達に応じた教育の円滑な実施。								
(7)	事業概要	校具・教具として必要な消耗品や備品等を整備し、初等教育の円滑な実施及び一部民間委託も用いた施設の管理。								
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)		
		事業費(A)		922,452	930,386	988,082	868,382	1,004,061		
		人件費	職員数	人	3.00	3.00	3.10	3.10	2.50	
			総額(B)	千円	24,900	24,900	25,892	24,921	20,426	
		総事業費(A+B)		947,352	955,286	1,013,974	893,303	1,024,487		
		特定財源(C)		91	46	73	34	34		
		(内訳)	国	0	0	0	0	0		
			府	0	0	0	0	0		
			その他	91	46	73	34	34		
		市負担(D)		947,261	955,240	1,013,901	868,348	1,004,027		
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0		
			その他	0	0	0	0	0		
一般財源	947,261		955,240	1,013,901	868,348	1,004,027				
財源計(C+D)		947,352	955,286	1,013,974	868,382	1,004,061				
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施								
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	大阪中央警備保障(株)ほか					
				②	鳳産業(株)ほか					
				③						
		主な委託内容		施設警備業務、便所清掃業務ほか						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①								
		②								
		③								
<input type="checkbox"/> その他	内容									

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 教育環境の整備	目標値	(単位:校)	35.00	36.00	/
			実績値	(単位:校)	35.00	0.00	
		達成度(%)		100.0	0.0		
	目標値の積算方法 対象学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	27,293.89	0.00		
			一般財源(単位:千円)	27,292.57	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 学校教育の円滑な実施	目標値	(単位:校)	35.00	36.00	/
			実績値	(単位:校)	35.00	36.00	
		達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法 対象学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	27,293.89	24,121.72		
			一般財源(単位:千円)	27,292.57	24,120.78		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>学校教育法(第5条)及び小学校設置基準(第11条)で、学校設置者には学校を管理し、学校の経費を負担、指導上、保健衛生上、安全上必要となる校具・教具を備え、常に改善し、補充しなければならないと規定されていることから、本事業は継続して実施するものである。</p> <p>なお、年次的に整備していく普通教室の空調設備に係る電気代や平成25年4月1日及び平成27年4月1日からの電気料金の値上げにより、枠配分予算内での経費捻出が困難な状況であり、教材整備など、教育環境に大きく影響を及ぼしている。</p>				

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	小学校管理運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01366				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	01366
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>平成23年度の吹田市事業見直し会議で校務員業務アウトソーシング推進の結果を受けて、小・中学校の校務員業務のうち、除草、樹木剪定及び清掃等の一部を拡大して業者へ委託している。委託料は増加するが、校務員退職者(再任用含む)の不補充に対し、臨時雇用員を活用することでここには出てこないが、人件費の抑制につながっている。</p> <p>校具・教具の整備においては、各学校の学校目標や教育目標等の特色を生かせるよう学校長の裁量と権限のもと学校配分予算を執行しているため、限られた厳しい予算状況ではあるが、効果的に実施している。また、施設管理の一部を民間委託することでより安全で衛生的な教育環境を維持しているところである。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	中学校管理運営事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	赤坂 文生

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	学校教育法、中学校設置基準							
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	21	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
		範囲等	中学校18校						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	校具・教具等の整備及び施設管理による、教育環境の充実。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	生徒の心身の発達に応じた教育の円滑な実施。							
(7)	事業概要	校具・教具として必要な消耗品や備品等を整備し、中等教育の円滑な実施及び一部民間委託も用いた施設の管理。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	項	目	大事業	中事業	小事業
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		417,610	429,327	443,705	397,724	442,742	
		人件費	職員数	人	2.00	2.00	2.50	2.55	1.70
			総額(B)	千円	16,600	16,600	20,880	20,500	13,890
		総事業費(A+B)		434,210	445,927	464,585	418,224	456,632	
		特定財源(C)		4,156	210	3,990	271	445	
		(内訳)	国	0	0	0	0	0	
			府	0	0	0	0	0	
			その他	4,156	210	3,990	271	445	
		市負担(D)		430,054	445,717	460,595	397,453	442,297	
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
一般財源	430,054		445,717	460,595	397,453	442,297			
財源計(C+D)		434,210	445,927	464,585	397,724	442,742			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	大阪中央警備保障(株)ほか				
				②	鳳産業(株)ほか				
				③					
		主な委託内容		施設警備業務、便所清掃業務ほか					
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 教育環境の整備	目標値	(単位:校)	18.00	18.00	/
			実績値	(単位:校)	18.00	18.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法 対象学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	24,773.72	22,095.78		
			一般財源(単位:千円)	24,762.06	22,080.72		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 学校教育の円滑な実施	目標値	(単位:校)	18.00	18.00	/
			実績値	(単位:校)	18.00	18.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法 対象学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	24,773.72	22,095.78		
			一般財源(単位:千円)	24,762.06	22,080.72		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>学校教育法(第5条)及び中学校設置基準(第11条)で、学校設置者には学校を管理し、学校の経費を負担、指導上、保健衛生上、安全上必要となる校具・教具を備え、常に改善し、補充しなければならないと規定されていることから、本事業は継続して実施するものである。</p> <p>なお、年次的に整備していく普通教室の空調設備に係る電気代や平成25年4月1日及び平成27年4月1日からの電気料金の値上げにより、枠配分予算内での経費捻出が困難な状況であり、教材整備など、教育環境に大きく影響を及ぼしている。</p>				

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	中学校管理運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01367				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	01367
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成23年度の吹田市事業見直し会議で校務員業務アウトソーシング推進の結果を受けて、小・中学校の校務員業務のうち、除草、樹木剪定及び清掃等の一部を拡大して業者へ委託している。委託料は増加するが、校務員退職者(再任用含む)の不補充に対し、臨時雇用員を活用することでここには出てこないが、人件費の抑制につながっている。</p> <p>校具・教具の整備においては、各学校の学校目標や教育目標等の特色を生かせるよう学校長の裁量と権限のもと学校配分予算を執行しているため、限られた厳しい予算状況ではあるが、効果的に実施している。また、施設管理の一部を民間委託することでより安全で衛生的な教育環境を維持しているところである。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	幼稚園管理運営事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	赤坂 文生

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし						
(2)	直近の改正	なし								
(3)	根拠法令等	学校教育法、幼稚園設置基準								
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)						
		一部にチェックした場合はその説明								
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	21		
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他				
		範囲等	市立幼稚園16園							
		目標 (どういう状態にしたいのか)	校具・教具等の整備及び施設管理による、教育環境の充実。							
	結果 (どのような効果が得られるのか)	園児の心身の発達に応じた教育の円滑な実施。								
(7)	事業概要	園具・教具として必要な消耗品や備品等を整備し、就学前教育の円滑な実施及び一部民間委託も用いた施設の管理。								
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)		
		事業費(A)		7,195	6,412	6,273	5,748	5,719		
		人件費	職員数	人	0.17	0.17	0.24	0.24	0.17	
			総額(B)	千円	1,411	1,411	2,005	1,930	1,389	
		総事業費(A+B)		8,606	7,823	8,278	7,678	7,108		
		特定財源(C)		2,000	0	2,000	0	2,000		
		(内訳)	国	0	0	0	0	0		
			府	0	0	0	0	0		
			その他	2,000	0	2,000	0	2,000		
		市負担(D)		6,606	7,823	6,278	5,748	3,719		
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0		
			その他	0	0	0	0	0		
一般財源	6,606		7,823	6,278	5,748	3,719				
財源計(C+D)		8,606	7,823	8,278	5,748	5,719				
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施								
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)双葉化学商会					
				②	(社)吹田市シルバー人材センター					
				③						
		主な委託内容		単独幼稚園の夜間機械警備 幼稚園受付業務						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①								
		②								
		③								
<input type="checkbox"/> その他	内容									

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	安全で衛生的な施設管理	目標値	(単位:円)	16.00	16.00	/
			実績値	(単位:円)	16.00	16.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	対象幼稚園	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	488.94	359.25	
				一般財源(単位:千円)	488.94	359.25	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	幼稚園教育の円滑な実施	目標値	(単位:円)	16.00	16.00	/
			実績値	(単位:円)	16.00	16.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	対象幼稚園	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	488.94	359.25	
				一般財源(単位:千円)	488.94	359.25	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		学校教育法(第5条)及び幼稚園設置基準(第10条)では、幼稚園設置者に幼稚園を管理し、幼稚園経費を負担し、教育上、保健衛生上、安全上必要な園具・教具を備え、常に改善し、補充することと規定されていることから、引き続き安全で衛生的な教育環境を維持していくため、本事業は継続して実施するものである。				

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	幼稚園管理運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01368				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	01368
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>学校教育法(第5条)及び幼稚園設置基準(第10条)では、幼稚園設置者に幼稚園を管理し、幼稚園経費を負担し、教育上、保健衛生上、安全上必要な園具・教具を備え、常に改善し、補充することと規定されていることから、本事業は継続して実施するものである。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成26年度から、事務の一部を児童部保育幼稚園室へ移管して実施している。

事務事業評価調書

事務事業名	通郵便送達事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	赤坂 文生

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	なし							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	20	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
		範囲等	市立小中学校、幼稚園などの教育施設						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	教育委員会事務局と教育施設における定期的な連絡文書等の送達。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	信書便事業者に委託することで業務効率の改善、送達時間の短縮、セキュリティ強化及びコスト削減を図る。							
(7)	事業概要	吹田市役所本庁舎内の教育委員会事務局と市立小中学校及び幼稚園等の教育施設との間における、連絡文書等の定期的な送達。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		7,841	7,806	7,806	7,806	7,806	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		7,841	7,806	7,806	7,806	7,806	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国	0	0	0	0	0	
			府	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
		市負担(D)		7,841	7,806	7,806	7,806	7,806	
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0	
その他	0		0	0	0	0			
一般財源	7,841		7,806	7,806	7,806	7,806			
財源計(C+D)		7,841	7,806	7,806	7,806	7,806			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)ジェイアール西日本マルニックス千里支店				
				②					
				③					
		主な委託内容		連絡文書等の送達					
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 連絡文書等の送達を必要とする施設への巡回	目標値	(単位:施設)	121.00	122.00	/	
			実績値	(単位:施設)	121.00	122.00		
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法 巡回先の施設数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	64.51	63.98			
			一般財源(単位:千円)	64.51	63.98			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	各施設への連絡文書等の送達			達成状況	各施設への連絡文書等の送達を円滑に行うことができた。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		逓送便送達事業の業者委託を廃止した場合には、行政文書等の送達業務を職員が行わなければならないが、専任職員や運搬車等の配置は困難であり、大量の文書を送達するために本事業を継続して実施するものである。					

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	通送便送達事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01378				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	01378
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>定期的に送達が必要な文書に加え、大阪府等から送付される冊子等は児童・生徒数と同じものもあり、大量の文書等を効率的に送達しなければならない。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)